



《表紙の風景》
つくばエクスプレスつくば駅周辺駅そのものは地下駅、地上4カ所の出入口からは人が溢れ出て、また吸い込まれていく。新しい商業施設も加わり、賑わいが増し、周辺の緑も豊かに育っている。人口20万人、計画的な新都市の表情は刻一刻、多彩さを加えていく。

編集後記

近代化以降、わが国では都市と鉄道は不可分の関係になりました。しかし、その双方がともに、計画的にかつ大規模に、全く新しい鉄道と都市をつくりだした例はほとんどありません。

つくばエクスプレスは先端的技術の鉄道と、沿線に整備される機能的でコンパクトな都市によって、環境負荷の低減という時代の最重要課題に応える都市と交通、そして地域の自然と共生する生活スタイルを創造しようとしています。まさに壮大な社会実験といえるでしょう。私たちUR都市機構が果たすべき役割と責任は極めて大きいと痛感しています。

スタート時点である現在に焦点をあて、各界におけるまちづくり理念と、沿線の将来への期待をまとめて今号の特集としました。ご高評をいただければ幸いです。

季刊「ユアールプレス・秋号」
Vol.5(2005年11月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel.045-650-0881
編集・制作 (株)日本経済社
(株)リアソシエーツ
印刷 (株)アイネット

つくばスタイルフェスタ2005開幕 ステキ暮らしワクワク体験

「つくばスタイル」とは、つくばの豊かな自然、充実した都市機能、知の集積という地域の資源を活かしたさまざまな暮らし方のことです。さる10月1日(土)茨城県やUR都市機構そして多彩な関係者によって「つくばスタイル宣言」を行い、10月31日(月)まで1ヵ月間つくばエクスプレス「研究学園」駅周辺一帯で多様な住まい方暮らし方を提案しました。古民家の茅葺きや壁作り、蕎麦打ち、つくばスタイルバスツアーなどの参加者が体験できるプログラムが展開され、つくばエクスプレス沿線のまちづくりの理念と実際を広くアピールしました。

また同会場の二番街では10月6日(木)から10日(月)まで、第17回住宅月間中央イベント「スーパーハウジングフェア2005inつくば」が開かれました。初日には高円宮妃久子殿下がテープカットセレモニーに臨まれ、来賓として北側国土交通大臣、島田住宅金融公庫総裁、橋本茨城県知事、主催者として救仁郷実行委員会会長が列席され、当機構から伴理事長が出席しました。



会場を視察される高円宮妃久子殿下



オープニングセレモニー風景



メイン会場二番街のエントランス空間



いばらき住まい博 会場

都市住宅技術研究所

集合住宅歴史館 特別展示 住まいと街づくり50年 —住宅公団からUR都市機構へ—



集合住宅歴史館

UR都市機構は、前身となる昭和30年(1955)の日本住宅公団発足から50年、戦後の住宅不足の解消をめざして大都市圏を主としてこれまでに約150万戸の住宅を供給するとともに、時代の変化に応じて都市のあり方を考えてきました。

当機構の都市住宅技術研究所(八王子)の集合住宅歴史館では、日本住宅公団設立期の集合住宅の移築復元や、時代ごとの建築・設備の部品を通常展示していますが、50年特別展示として、住宅公団から50年の歩みを豊富な写真パネルや映像等で紹介しています。ぜひご来場ください。



50年特別展示の様子



通常展示の様子



画期的だったテラスハウスを移築(多摩平団地)



昭和30年代に登壇したステンレス流し台



寝食分離のダイニングキッチン(晴海高層アパート)

2005
12/28(水)まで開催中

公開日 = 火、水、木、第2・4金曜日
公開時間 = 午後1時30分 ~ 午後4時30分

見学に際しましては、事前にご予約ください。
電話又はホームページにてご予約ください。

独立行政法人都市再生機構 都市住宅技術研究所
〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3
TEL 0426-44-3751 FAX 0426-44-3755
URL <http://www.ur-net.go.jp/rd/>



交通
JR八王子駅又は京王八王子駅よりバス16分
「大和田、東海大学病院經由津木台行き」
ケンウッド前下車 徒歩5分
JR八高線「北八王子駅」より徒歩10分
JR「豊田駅」よりタクシー10分
車では中央自動車道 八王子インター第1出口から約3分